

令和2年度 第4回日進市男女平等推進審議会議事録

日 時 令和3年3月12日（金）午後6時30分～7時30分
 場 所 日進市役所 南庁舎2階 第5会議室及びオンライン
 出席委員 中島美幸、可児康則、吉田真砂、山本真理子、山本健一、水谷有志、
 福田有輝、原真理子、菅沼成明、下野房子（敬称略）
 欠席委員 安形典子
 事務局 岡部功（市民協働課長）、蟹江砂織（同課主幹）
 武田裕子（同課共生共同係主査）、松田涼輔（同係主事）
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有（4名）
 協議事項等
 （1）第3次日進市男女平等推進プラン（案）について
 （2）その他

議事及び発言内容

発言者	内 容
	開会
事務局	開会を宣す
会長	あいさつ
事務局	以降の議事の取り回しを会長に依頼
会長	傍聴者の確認
事務局	傍聴の申し出有り
	傍聴者入場
会長	次第に沿って進行
	（1）第3次日進市男女平等推進プラン（案）について
事務局	プラン（案）について説明
委員	キャッチコピーの表記について、「認めあう」はひらがなが正しいか。
事務局	プラン全体をひらがなの「認めあう」で統一した。
会長	委員には、市民意識調査からプラン策定まで非常にご尽力いただいた。本プランに対して一言ずついただきたい。
副会長	策定の途中でコロナの影響があり、色々ありながらもここまで辿り着けた。他の市町村と比べても見やすく分かりやすいプランになったのではないかと思う。作るだけでは意味がないので、活用して、日進の男女平等を進めていただきたい。
委員	計画によって、今後どのようにしていけば良いかが見えてきたのではないかと思う。 3点ほど自分で感じたことがある。

	<p>1つ目は子どもたちへの教育の大事さ。制服の問題も新しく出ているので、子どもたちが納得できるような校則が出来ればいいと思う。日進市の男女共同参画教育研究指定校制は効果があると思うので、学校の方も忙しくて大変だろうが、ぜひ続けていただきたい。</p> <p>2つ目は、私自身がまだ無意識の思い込みから解放されていないことを痛感した。</p> <p>3つ目は、学校関係の女性の管理職のこと。日進市は現在良い状況なので、このまま減らないように、ぜひ30%の所にいけるといいと思う。</p>
委員	<p>審議会の在り方など戸惑うことがあった。意見が出しづらい場面もあったと思うが、自分自身も勉強をし、男女共同参画について活動している仲間に話を聞くなどした。パブリックコメントを見ても、よく考えている市民の方がたくさんいらっしゃることもよく分かった。事務局には、次回委員を選ばれる時も、市民の方に入ってください、審議会についてよく説明した上で、委員が活発に意見を交わせるよう努力していただきたい。</p> <p>プランを計画のまま終わらせず、近隣の市町の様子を見つつも、日進市として独自のものを打ち出していただけると、色々な議論も巻き起こるのではないかな。</p>
委員	<p>内容的に充実したものが出来上がったというのが第一印象。コロナの影響を踏まえた最新の部分まで記載されており、他市と比べてもかなり充実したものになっているのではないかなと思う。</p> <p>パブリックコメントで、大人に対する啓発が必要だというようなことが記載してあった。子ども達は学校を通して教育として受ける機会があるが、大人にどのように浸透させていくのが課題になるので、そこを着実に進めていければ素晴らしいと思う。</p>
委員	<p>コロナ禍で会議を開くのが非常に難しい時に、オンラインの会議を迅速に取り入れていただいた。プランに関しても素晴らしいものが出来上がったので、これを機会に幅広い世代に見てもらえるといいと思う。</p>
委員	<p>審議会の開催について、コロナ禍の中で柔軟に対応して頂いた。良いプランが出来上がって良かったと思う。</p> <p>私も大人に対する啓発がこれから必要だと感じている。</p>
委員	<p>プラン（案）などについて、非常にコンパクトにまとめられていて、わかりづらい言葉にはコメントがつき、誰もが分かるようになっているのではないかな。もっと男性に伝われば変化していくのではないかなと思う。そのための基準になるものを分かりやすくしていければと思う。</p>
委員	<p>現況値に対し目標値が出され、あまりかけ離れた数字ではないなという風に見てきた。</p> <p>私が気にしているのは子どもたちのことで、小学生・中学生・高校生といった子どもたちの立場に合った気づきの部分を、実際の教育の中でいかに日進市が統一して取り組んでいくかということが大事になると思う。</p>

	<p>パブリックコメントを読ませていただいたが、こんなにたくさんの方がご意見を寄せられるのかと驚いた。その中に制服の問題やデートDVの問題について言及があった。子どもたちが育っていく中で、何かが変わることで学習することがある。混合名簿になる、簡単なチェックシートなどを使って先生方も同じように勉強していただくなど、実際にそういったことによって気づいた子どもたちをたくさん知っている。こういったことを日進市も今後は教育の一つの場として取り組んでいき、子どもに対して見える化が出来ていければと思う。</p>
委員	<p>学校現場では、体育の別修が一つになったり、他の自治体では制服をどのようにしていくかといった動きがあったりする。そういった流れの中で、本市がどういう風に進めていくかということを私なりに考えさせていただいたり、組織に持ち帰って考えたりといった機会にさせていただいた。</p> <p>委員の皆様のご意見を色々伺って勉強になった、お礼申し上げたい。</p>
会長	<p>2年に渡って委員の皆さまにはご審議いただき、今回のプランは非常によいプランが出来たのではないかなと思う。後は実行性をいかに持たせていくかということ。事務局が司令塔になって進められていくと思うが、我々も自分の持ち場で一步でも進めていけるよう実行していきたい。</p> <p>5年後に中間見直しがあるが、これからの5年というのは、これまでの5年以上に社会が激変していくのではないかなと思う。その間に盛り込むべき施策は盛り込むなど、中間見直しを待つことなく施策の見直しを行っていく必要があると思う。</p> <p>国は第5次男女共同参画基本計画、愛知県はあいち男女共同参画プラン2025と計画を策定したところだが、国や県の動きも入れたものが出来た。パブリックコメントも非常に充実していた。これは委員も事務局も心強いのではないかな。事務局も緊張感を持って受けとめたと思う。こういう関係性は必要だと思うので、常に緊張感を持ちながら施策を進めていくという関係性を事務局と市民の間で持っていられるといい。</p> <p>皆さんのご意見・感想を伺っていても、子どもの教育や大人の学びが必要だということで、学びの充実ということが一つの大きなポイントになると思う。今回オンラインという形で新しい扉が開けたので、工夫をしていただいて、子どもはもちろん大人も学ぶ機会を広く提供していただければ嬉しい。</p>
	<p>答申</p>
	<p>(2) その他について</p>
事務局	<p>①次年度に向けて</p> <p>②性の多様性の基本情報パンフレット</p>
事務局	<p>次回の審議会は7月～8月予定。</p>
	<p>閉会 (19:30)</p>